



3号

NPO 法人よこすかシティガイド協会

黒船

発行：NPO法人よこすかシティガイド協会
 発行日：令和2年9月30日
 責任者：理事長 鈴木孝雄
 編集：会報編集チーム リーダー 玉井幸雄



URL : <http://yokosuka.kankoh-guide.com/>

コロナに負けるな!

二月十八日、横須賀市長から新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から6月末までの市主催のイベントの中止又は延期、の発表がありました。それに伴いNPO法人よこすかシティガイド協会の活動も、二月末から休止といたしました。その後、緊急事態宣言が発動され、やがて解除されたのに伴い、当協会も七月に「ガイド再開時の実施要領」を策定し、「新たなガイド様式」での活動再開を決定しました。もともと七月、八月は夏場のため企画ガイドはなく、また九月は事情によりたまたま不催行となりましたので、実質的には十月からの活動再開となります。「新たなガイド様式」とは基本のマスク着用に加え、密集密接を避けるため、ゲスト数最大三十名、一班六名以下に制限、半日コースに限定、いたしました。さらに「神奈川県LINEコロナお知らせシステム」への登録も済ませ、受付時にはフェースシールドを着用し、体温測定、手指消毒液配備等、ウイルス感染

予防に万全を期してまいります。つきましては、是非、当協会の企画ガイドツアー等へご参加下さい。会員一同、「コロナに負けるな」を合言葉に研鑽に努め、心よりお待ちしております。

(理事長 鈴木孝雄)



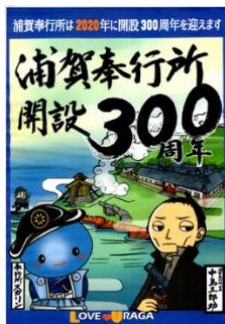
浦賀奉行所開設三百年

浦賀奉行所は、今からちょうど三百年前の享保五年(一七二〇)二月に下田から機能を移転して新設されました。主な役割は、江戸へ出入りする船の検査監督です。全国各地から江戸に出入りする船がふえたことにより、その取締りを行う「海の関所」としての役割を担いました。十八世紀になると度々外国船が来航し、幕府は文化七年(一八一〇)二月に会津藩と白河藩に江戸湾口の警備を命じました。さらに、文政三年(一八二〇)になると会津藩の警備が免除されたことにより、浦賀奉行所の役割に、外

国船に対する海防やそれに伴う関係諸藩の指揮が加わりました。嘉永六年(一八五三)六月三日にペリ―艦隊が浦賀沖に来航時、最初に交渉にあたったのが、浦賀奉行所与力の中島三郎助と通詞の堀達之助でした。交渉で通詞の堀は中島を副奉行と云い、翌日の四日には与力の香山栄左衛門を「浦賀奉行」と役職を詐称して交渉にあたりました。その後、米国とは日米和親条約・日米修好通商条約の締結へと発展して行きました。そして明治新政府が江戸城に入り、幕府軍の敗戦が決定的になると、浦賀奉行所も慶応四年(一八六八)閏四月新政府軍(鍋島藩)に接收され一四八年の歴史に幕を閉じる事になりました。

今年予定されていた三百年の関連イベントが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止となったのが大変に残念です。

(椿 孔平)



日米親善ベース歴史ツアーの紹介

横須賀を代表するイベント

通常は入場できない米海軍横須賀基地（ベース）で行われる「日米親善ベース歴史ツアー」は、横須賀市を代表するイベントで、年4回（5月、6月、10月、11月）実施されています。主催は横須賀市観光協会で、ガイドは当協会が担当しています。ゲストは、北は北海道、南は九州から前泊で参加される方もおり、定員は1回150名で、2019年度の実績では、参加者547名（市外464名）に対し応募者4250名と大人気のイベントです。

米海軍横須賀基地の歴史

幕府勘定奉行の小栗上野介が提案し、慶應元年（1865）から仏人技師ヴェルニーにより建設された「横須賀製鉄所」は、明治維新で、施設も人も徳川幕府から明治政府へと引き継がれ、明治4年には「横須賀造船所」と改称されました。ハード面では蒸気機関を利用した最新技術の設備と、ソフト面では日曜休日制度、健康診断、時計による労務管理、有給休暇、年功給、メトル法の導入、複式簿記の採用、教育機関の設置など日本初の近代工場管理制度を導入して、日本の近代化の礎を築きました。

明治36年から昭和20年までは「横須賀海軍工廠」として旧日本海軍艦艇144隻を建造するとともに、多くの艦艇の修理を行いました。昭和20年の終戦後は連合軍に占領されましたが、昭和22年4月からは米海軍艦船修理部として現在に至っています。

海軍工廠のほか、明治17年には「東海鎮守府」が横浜からここに移され、「横須賀鎮守府」となり、海兵団・海軍砲術・航海・機関の各学校及び海軍病院等、旧日本海軍の各種施設が基地内に建てられました。これらの施設は、昭和20年8月以降、米海軍が使用（一部海上自衛隊と共同使用）しています。

現在の米海軍横須賀基地

面積は約71万坪、東京ドームの約50倍で横須賀市の2.3%、基地内の人口は約23,000人（日本人従業員約4,500人含）で横須賀市の5.9%になります。また、基地内には、次の5つの司令部があります。

- ・ 在日米海軍司令部
- ・ 第7艦隊司令部—揚陸指揮艦「ブルーリッジ」内
- ・ 第5空母群司令部—空母「ロナルドレーガン」内
- ・ 第7潜水艦群司令部
- ・ 横須賀基地司令部

ツアー概要

JR 横須賀駅～ヴェルニー公園～ベース正門～兵曹長クラブ（旧海軍工廠庁舎）～1、2、3号ドック～4、5号ドック（又は6号ドック）～フードコート（昼食）～米海軍病院（旧海軍病院）～米海軍横須賀基地司令部（旧海軍横須賀鎮守府会議所）～在日米海軍司令部（旧海軍横須賀鎮守府庁舎）～ベース正門



（明治4年に竣工した1号ドライドックをツアー中）



（昭和15年竣工、空母信濃を建造した6号ドライドック）

新型コロナウイルス感染拡大の影響

今年度の5月・6月のツアーは、中止となりましたが、10月・11月は、新型コロナウイルス感染拡大防止策としてゲスト数を1回24名に限定し、コースも短縮して午前中で終了するツアーとして実施される予定です。ただし、感染状況によっては中止の場合もありますので、お申し込みの際には、下記横須賀市観光協会のURLから最新情報をご確認ください。

<http://yokosuka-kanko.com/pickup/2020/08/post-55.html>

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話090-5507-6519（理事長 鈴木孝雄）まで

2020 年内のガイドツアー予定

みなさまのご参加をお待ちしています。

当会が企画したガイドツアー

〈マスクの着用をお願いいたします。〉

ツアーNo.	コース名	シリーズ	開催日	曜日	集合 / 解散
19	北斎ゆかりの古道を歩く		10/8	木	北久里浜駅/船番所跡(浦賀)
20	秋桜鑑賞と歴史の栗浜めぐり		10/9	金	京急久里浜駅/くりはま花の国
21	新善光寺から名勝森戸海岸へ(鎌倉道第三)		10/10	土	滝の坂バス停/京急線 逗子葉山駅
22	富士と歩こう1秋谷～芦名		10/16	金	JR逗子駅/大楠芦名口バス停
23	明治の砲台と「夏島貝塚」見学		10/25	日	追浜駅前デッキ/追浜車庫前バス停
24	名越切通しから元八幡宮へ		11/3	土	JR逗子駅/元八幡宮
25	小さい秋#6(久里浜～YRP)		11/13	金	京急久里浜駅/光の丘水辺公園
26	富士と歩こう2 矢作～長井		11/16	月	三崎口駅/新宿バス停
27	ぽっくり観音とぽっくり地藏		11/18	水	新大津駅/走水神社
28	晩秋の塚山公園と里山を満喫		11/25	水	安針塚駅/上山口小学校バス停
29	武山不動から三浦三山を巡る		12/5	土	津久井浜駅/京急長沢駅
30	奉行所の足跡を巡り久里浜へ		12/8	火	浦賀駅/ペリー公園
31	富士と歩こう3 油壺～三戸		12/11	金	三崎口駅/三崎口駅
32	神武寺の煤払い法会と鷹取山		12/13	火	JR東逗子/追浜駅
33	弟橘媛の愛と御所ヶ崎		1/16	土	馬堀海岸駅/走水神社
34	浦賀の鰻絵と地獄絵図拝観		1/16	土	浦賀駅/西岸叶神社
35	天皇行幸の地を歩く1(横須賀駅～記念艦三笠)	☆	1/17	日	JR線 田浦駅/三笠公園
36	三浦台地歩き武山初不動参拝		1/28	木	JR逗子駅/浄楽寺バス停
37	西の浦賀道		2/17	水	京急線北久里浜駅/燈明堂入口バス停
38	河津さくらとソレイユの丘		2/22	月	三浦海岸駅/ソレイユの丘
39	天皇行幸の地を歩く2(浦賀～観音崎砲台)	☆	2/23	火	叶神社(西岸)/観音崎バス停
40	田浦の近代化遺産と日本遺産		2/25	木	京急田浦駅/JR田浦駅
41	仏像巡りと満願寺蘭展見学		3/13	土	北久里浜駅/衣笠城址バス停
42	子安の里から運慶仏		3/16	火	JR逗子駅/浄楽寺バス停
43	野島夏島貝塚と掩体壕巡り		3/23	火	横浜シーサイドライン野島駅/追浜駅

《10月から「新しいガイド様式(午前コース・ゲスト30名・1班6名)」で再開いたします。なお、コロナの感染状況や台風被害などによりツアーの中止やコース変更がございますので、協会ホームページでご確認ください。》

依頼ガイドツアー募集

下表はモデルコースです。他のお勧めコースもありますので、協会ホームページをご覧ください。

地区名	ツアー名	コース
中央地区	ヴェルニー公園と猿島巡り	ヴェルニー公園～ドブ板通り～三笠公園～記念艦三笠～猿島～三笠棧橋
浦賀地区	浦賀の文化遺産と歴史を訪ねる	東叶神社～浦賀の渡し～奉行所跡～愛宕山～西叶神社
観音崎地区	海と花・歴史と文化遺産	走水水源地～走水神社～横須賀美術館～観音崎公園～観音崎灯台
衣笠地区	衣笠・中世山城の歴史道を歩く	衣笠山公園～衣笠城址～大善寺～満昌寺～清雲寺～満願寺
追浜地区	夏島貝塚・貝山緑地を訪ねる	明治憲法起草記念碑～夏島貝塚～貝山緑地～予科練誕生之地記念碑
西海岸地区	横須賀西海岸の自然と歴史を訪ねる	湘南国際村～子安の里～立石公園～若命家長屋門～浄楽寺

トピックス

地区部会紹介(大津・観音崎)

当部会は、横須賀市の東部に位置し、北は東京湾に面し、東は浦賀、南は久里浜に接する大津から東京湾に大きく突き出した観音崎までを担当地域としてガイド活動をしています。地区の特徴としては、古事記中巻のヤマトタケルとオトタチバナヒメの舞台である走水があり、その御所ヶ崎や走水神社は若い人たちにも人気のスポットです。また、自然の宝庫と言われ多種の野鳥や植物が見られる県立観音崎公園は、多くの家族連れで賑わっています。主なガイドコースとしては、走水コース「古事記に見る弟橘媛を古東海道走水に訪ねる」、観音崎コース「観音崎灯台と公園内の砲台巡り」、大津コース「龍馬の妻おりょう横須賀編」、遺跡コース「大津古墳・大塚台古墳群そして矢之津坂遺跡を訪ねる」などがあり、十二名のメンバーは、この地区の魅力をわかりやすく丁寧に紹介しています。

(藤田)

会員紹介 (二〇二〇年入会)

正会員 三名(以下に自己紹介)

桑原博美 (浦賀・久里浜部会)

横須賀で育ちましたが、あまり横須賀のことを知らないもので、自分自身がいろいろ知りたいと思い応募しました。まだまだ知らないことが沢山あり、勉強になっています。コロナ渦の中、ツアーに参加することができず、ガイドとしてやっていけないのか不安もありますが、皆様に暖かく迎えられる地元貢献できるようになりたいと思います。横須賀の魅力を発信できればと思います。



(桑原)

宮崎孝雄 (追浜・田浦部会)

自分のやりたかったことに時間を使う時期がきたなと思います、昨年仕事を辞めました。横須賀の歴史の勉強をしようとして郷土史資料を読み始めていた折、広報よこすかで会員募集の記事を目にしました。地域を

際に歩き、伝承や埋もれた史実を知ること的魅力を感じますし、いらした方々に横須賀の魅力を伝えることで賑わいづくりに寄与できるな

らやりがいもあると考えています。本部、部会の研修を実施していただき、先輩方の知識量と幅の広さに感服しています。少しでも近づき、横須賀のファンを増やしていける

よう学習と活動を続けたいと思います。宜しく願います。



(宮崎)

島森 浩 (衣笠部会)

私のご先祖様の地は横須賀市楠ヶ浦です。しかし、その地を踏んだことがありませんでした。そこは、現在の横須賀米軍基地の中で、USAのカリフォルニア州となっていて簡単には入ることができないからです。しかし、運良く6年前に日米親善ベース歴史ツアーに当選し、初めてその地を踏み先祖の供養をすることができました。ずーっと、

終戦後GHQに無理やり楠ヶ浦から追い出されたのだと思います。追いかけてみると、大正の終わりに「稲楠土地交換」という施策で市内に点在していた海軍の土地と交換し、大津に移転したことがわかり勉強になりました。このことをきっかけに、わが横須賀の歴史、遺産についてもっと知りたい学びたいと思うようになり、定年退職にあわせてガイドに応募させていただきました。

趣味はスキー、ゴルフ、登山、旅行、神社仏閣巡り等で、最近糠漬けを始めました。ぬかみそ臭いオジサンですが、多くの方々との交流を楽しみにしています。宜しく願います。



(島森)

賛助会員(個人) 一名

浅野 茂 市内田浦 在住

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話 090-5507-6519 (理事長 鈴木孝雄) まで